

2019・第61回「こどもの読書週間」開催についてお願い

公益社団法人 読書推進運動協議会は、恒例の春の行事「こどもの読書週間」を本年も主催いたします。・・・

今年の標語は『**ドは読書のド♪**』です。期間中関係各位によって全国的に実施される行事は、この標語を中心に展開されることとなります。

幼少のときから書物に親しみ、読書の喜びや楽しみを知り、ものごとを正しく判断する力をつけておくことが、次の世代を担う子どもたちにとって、どんなに大切であるかはいまさら申しあげるまでもありません。本を読み、読んで考え、考えて行動する子どもたちが育つならば、青少年に関する多くの問題点も解決されるのではないのでしょうか。「こどもの読書週間」は子どもたちに、よい本やよい雑誌に親しむことをすすめ、読書の楽しみや喜びを知らせ、正しい読書の習慣を身につけさせる好機です。そして、同時に大人にとっては、こどもの読書がいかに大切なことか、よい本や雑誌を与えるためにはどのような努力をしたらよいか、ということについて考える機会でもあるといえましょう。・・・

家庭における読書環境の整備は、以下の3点がたいへん重要です。

(1) 幼児には父母が本を読んで聞かせてあげる。

(2) 子どもたちの身近にいつも本を置くことを考え、毎日たとえ短い時間でも本を読むことをすすめ、本を読むのを聞いてあげる。

(3) そして大切なことは、父母みずからが読書する姿を、子どもたちの眼にふれさせる。

やがて、そこに本を中心とした話題が生まれ、親子の対話に発展することは明らかです。・・・

なお、2001年12月12日に公布されました「こどもの読書活動推進法」により、「こどもの読書週間」の始まりの日である4月23日が「子ども読書の日」と制定されております。「こどもの読書週間」とともに、「子ども読書の日」もおおいに広めていただきたいと存じます。

2019年3月

公益社団法人 読書推進運動協議会
会長 野間 省伸

4月は「こどもの読書月間」

4月2日「国際子どもの本の日」

子どもと子どもの本に関わるすべての人をつなぐ国際的なネットワーク、IBBY（国際児童図書評議会）が1967年に制定。この日はアンデルセンの誕生日です。加盟各国が順番にポスターとメッセージを制作し、世界中に子どもの本の充実と普及を呼びかけています。日本ではJBBY（日本国際児童図書評議会）がイベントを開催し、ポスターを配布するなど、普及に努めています。また、この日ははさんで、毎年「絵本週間」も開催されています。4月10日「教科書の日」わが国の学校教育に大きな役割をはたし、また子どもたちにとっては身近な書物である教科書への理解を深めるきっかけにと、教科書協会が2010年に制定、普及に努めています。4月23日「子ども読書の日」21世紀を真に子どもの世紀とするための画期的な道しるべ「こどもの読書活動推進法」により、2001年12月に「こどもの読書週間」の始まりの日を「子ども読書の日」として制定されました。文部科学省は、毎年この日にフォーラムを開催。全国で多数のイベント企画が展開されています。この日は花と本を贈りあうスペイン・カタルーニャ地方のお祭り「サン・ジョルディの日」であり、シェイクスピアとセルバンテスの命日でもあることから、1996年の国際出版連合総会で「世界本の日」と定められました。

以上、公益社団法人 読書推進運動協議会のホームページより（一部抜粋）